

臨時休校中の自宅学習における「おさらい先生」の効果的な活用方法（小中学校共通）

先生方から質問のあった活用方法のガイドラインをまとめました

1. 誰に使えばいいのか？

全児童・生徒対象です。個人個人その子に必要なレベルの学習ができます。学習はレベル診断から始まるので、誰がどのスタート地点から学習を始めなければならないか正確に判定できます。先生の指導の参考にもお使いください。診断機能を使った学力調査だけでも十分な価値があります。

2. いつ、どのくらい使えばいいのか？

短時間でも継続的に学習するのがいちばん効果的というデータもとれていますので、ぜひ毎日15分ずつでも学習いただければ必ず成果は出ます。読解・計算のどちらかとは決めず、合わせて15～30分がめやすです。

3. 学習状況をどうやって把握すればいいのか？

「学習計画不要」なのが「おさらい先生」の大きな特長です。生徒は「学習スタート」ボタンを押すだけで最適な単元を学習します。管理画面からは学習者全員の学習状況がリアルタイムで把握できます。

4. 詰まっているところをフォローできなくて大丈夫か？

「おさらい先生」のメソッドは、

●読解：<演習読み>

- ・演習しながら読むことで読み流さず深く読める
- ・繰り返し読むことでだんだん内容が理解できる

●計算：<時間内満点突破>

- ・時間内に解くことで速く・正確になる
- ・全問正解しないと先に進めないことで習熟できる

ことにあります。各単元は初出時に例題を解いていくうちに解き方が自得できる構成になっていることに加え、詰まっているところは何度も反復して突破できるようになるので、学習フォローが必要ない仕組みになっています。

5. 反復は停滞ではないの？

「おさらい先生」はその名の通り、徹底した反復が特長なので停滞期間とはとらえません。スポーツや音楽の基礎トレと同じく、反復学習自体はどのレベルの子にとっても必要で、その量・期間ができるできないによって個人差があるだけです。この反復によって子ども達は自分の羽で空を飛ぶ力を養うのです。